

あれからどうなったんやあ〜 シリーズ 83

このシリーズは、過去の定例会（今回は平成28年6月議会）での一般質問に関して、その後の状況をお知らせするものです。

「ご当地ナンバープレート」の普及は「こうなりました」

問

当初1000枚のナンバープレート導入を予定していたが普及率は12・7%で155台に留まっている。無料で交換が可能であり、養老をアピールする格好の宣伝材料と考える。

答

改めて広報養老等に掲載することも、提案のあったように郵便局や金融機関、新聞販売店等の業者に協力をお願いし更なる普及を促進する。



郵便配達バイクのスマイルげんちゃんナンバープレート（養老郵便局にて）

平成28年6月に、町内の新聞販売店や養老郵便局へ切り替えのお願いにあがり、また、広報やホームページでPRさせていただきました。平成28年7月時点で、新聞販売店25台、養老郵便局で26台の切り替えをさせていただいたこともあり、平成29年6月末現在の発行台数は223台で、平成27年度末の155台より68台増加しました。普及率では19・3%となり、平成27年度末の12・7%に比べ6・6%の伸びとなっております。今後も、広報等を利用して観光振興や町民の地域への愛着心の醸成に努めてまいります。

議会に対しての意見

シリーズ 21

■ 住民の声 ■

このシリーズは、町内の各種団体の代表や副代表等の方へ、編集委員が意見をお聞きし、その記事を掲載するものです。

（町内在住 K・Mさん）

町内の空き家、空き地が寂しく暗く、我々に何かを訴えているように感じます。その背景には少子化等の影響で人口減少が進んでいる事がありますが、若者の町外転出が止まらない現状があります。現状を真摯に受け止め若者が定住できる環境整備（子育て支援等）を考えるだけでなく、今すぐできることを実行する事を望みます。

環状道路関連、県道拡幅、養老改元1300年祭等進行中の事業とは別に各地域や町の年間事業をできる限り簡素化し、毎年同じ事業は2〜3年おきにするなど親子共に負担を軽くすることが特に大事だと思います。学校関連については、パソコンタブレットでの教育（他市町より数年遅れている）や、通学時でのオンデマンドバス、または定期バスの活用、給食医療費の助成等、一方で企業誘致も進めていただきたい。本町で一番大事なことは安心して子育てができる町にすることです。町会議員の方々は町民が選んだ人であり、養老町存続のためにすぐに行動を起こし実行されることを望みます。



綱渡り財政運営では

町長 更なる経費削減に取り組む



◆ 水谷久美子 議員

ここ3年間の単年度決算収支は、連続赤字決算であり、起債発行額も毎年10億円を超えている。財政収支の悪化は、一般財源が足りないか、使いすぎているかのどちらかである。

問

予算編成では一般財源をコントロールし、全事業の投資・経常的経費の認識が明確になる包括予算制度の導入を検討できないか。

答

政府予算や制度の改正、景気の動向による財政状況の変動も懸念され対応が困難。しかし、包括予算制度はメリットも多く最善の手法を模索したい。

問

経常経費充当一般財源を減らし収支改善をはかる事は、本質を論議し、意識改革で可能と考えるか。

答

庁舎内のLED化、軽自動車への転換、契約の見直しなど施策の廃止・減額で経費削減に努めてきた。更なる経費削減に取り組んでいく。

問

平成32年度を最終とした中長期財政計画では、財政調整基金（安定した財政運営の担保）を20億円、減債基金（地方債償還の財源）を4億円などが数値化されている。大変厳しいのではないか。

答

今年度が計画の中間点であり決算状況や健全化判断比率などを踏まえて見直したい。

問

納税者の総合的な生活相談体制を確立してある滋賀県野洲市に学ばれないか。

答

先進地視察や他市町の事例など調査研究し納税者に寄り添う納税施策を進めたい。



今年度当計画の中間点

教育行政は

教育長 小・中学校共に改善されつつある

問

日本の教員の1週間当たりの勤務時間は国際調査でも最長であり大きな社会問題になっているが当町の実態は。

答

小学校では昨年と比較し大幅に改善が図られている。中学校では部活動の時間が長く、小学校より大幅に長くなっている。

問

全国的に二学期制導入議論が進められているが町の見解は。

答

職員の負担の軽減につながるが、学期のけじめがつきにくく、中学校の保護者から成績の実態がつかみにくいなどの声があると聞いており、導入の考えはない。